

2016（平成28）年度 活動報告書

2017年2月

特定非営利活動法人
セブン・ジェネレーションズ



セブン・ジェネレーションズ（SG）とは？

Mission

わたしたちは持続可能で公正な未来を実現するために、目覚め続ける世界市民のコミュニティを育みます。

Value

1.人

この活動に参加するすべての人を尊重します。そして参加しないすべての人も尊重します。目指すビジョンを実現するのは人。かけがえのない人と人がここに集い、この活動がはじまりました。

2.つながり

すべての存在とのつながりを感じます。自分につながるすべての人。生きとし生けるもの。身の回りにある道具。自分が食する食べ物。そして地球。すべてのものとのつながりに思いを馳せます。

3.対話

心を開いて対話することを実践します。お互いの心の中にある声に耳を傾け、お互いの人そのものに興味を持って言葉を紡ぎ合います。

4.プロセス

プロセスを大切に扱います。今、そこに葛藤があったとしても、プロセスを丁寧に踏むことで未来への智慧が見つかります。そしてその智慧の中から結果が自ら姿を現すことを信じます。

5.オープン

この活動の場はすべてオープンなスペースです。つまりこの場への出入りは自由であり、安心してそれぞれの想いに沿って活動・発言ができる自由があります。そして、この場にある智慧、情報、出来事は場の外に向けても開かれています。

6.問い

常に問いを持ち続けます。言葉を手にした瞬間から「思い込み」がはじまります。さらに問いを持ち、言葉を更新し続けること。言葉にならないものに問いかけ、言葉にしていくことに挑戦します。

7.体現

わたしたちは、わたしたちの願いを体現する集まりです。外に求めるだけでなく、謙虚に自分達のビジョンを自分達で示すことを意図して活動します。



目次

1. チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム開催	・・・4ページ
2. ファシリテータートレーニング	・・・5ページ
3. チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムVer3.0リリース	・・・7ページ
4. ゲーム・チェンジャー・インテンシブ（GCI）開催	・・・8ページ
5. リン・ツイスト来日イベント「夢を変え、ゲームを変え、世界を変える」開催	・・・9ページ
6. エクアドル関連事業	・・・10ページ
7. その他の活動・イベント	・・・11ページ
8. お金の循環をめぐる新たな試み	・・・12ページ
9. ホームページを新設・クレジットカード決済導入	・・・13ページ
10. ご寄付について	・・・14ページ
11. 最後に	・・・15ページ



1. チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム開催

2016年度は、1月9日から始まり12月25日まで、チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム（以下チェンドリ）が全国各地で開催され、参加人数は423名、合計が3938人となりました。

今期は、ファシリテータートレーニングを経て、新しくファシリテーターになったメンバーやチェンドリの目的に共感してくださる方々の協力により、意欲的にチェンドリが開催されました。ファシリテーターによる新しい試みとして、宮城県在住の佐藤さわさんによるオンラインツールZOOMでのチェンドリ開催が6回行われ、場所を問わない自宅でのチェンドリへの参加が可能になりました。宮城県という関東・関西の大都会とは離れた地域からこそ生まれた試みです。今後も定期的に行なっていくので、ご期待ください！

また、前期に引き続き、他組織との連携がさらに深まりました。

子ども向けチェンドリをファシリテーターの子どもが通っている保育園・小学校の特別クラスで開催したり、学校法人正良学園 習志野台幼稚園でのイベントでも開催をいたしました。

高校生・大学生向けにも自分の身の回りにとどまらず地球全体や、その先の未来の展望まで考えるチェンドリの需要は高まっており、専修大学付属高等学校や、武蔵野大学明石ゼミなどで開催することができました。

その他、長崎県東彼杵郡東彼杵町にあるNPO法人東そのぎ口ハスの郷が運営する場所「たまゆら」で、3月19日（土）から3月21日（日）の3日間、チェンドリをはじめとする地域コミュニティ、土地、人をつなげるイベントが開催されました。

これらの実績は、チェンドリというプログラムがその目的「地球上のすべての人が環境的に持続可能で、社会的に公正で、精神的にも充足した生き方を実現すること」のためであれば著作権フリーで使えるということを活用したものだと考えています。コラボレーションにご興味ある方はぜひお知らせください。





2.ファシリテータートレーニング その1

2016年度のファシリテータートレーニングは初の関西開催を含め全6回開催し、25名のファシリテーターの仲間が誕生しました。これにより、日本で活動するチェンドリファシリテーターは238名となりました。また第23回より、これまで2日間だったプログラムを2日+1日の計3日間のトレーニング構成に変更し、より実践的な学びが得られるようになりました。

第20回 チーム「11フェニックス」 11名

日程：2月13～14日@オフィス（東京都中央区銀座）

小泉正信（しんしん）、Skip Swanson（Skip）、今泉悦江（よっち）、山保貞嘉（ZION）
山本陽子（よっこ）、本間玲子（りょうちゃん）、明恒次朗（あけどん）、延与早紀子（さきちゃん）
吉永至宏（よっしー） 山田幸（みゆきさん）、鈴木純子（じゅんじゅん）



第21回 チーム「iFETH」 4名

日程：3月3～4日@しみん基金KOBE（兵庫県神戸市）

嶋田和宏（しまちゃん）、原園大昭（ひろくん）
小田季未子（きいちゃん）、白狼滯（みおちゃん）



第22回 チーム「爆笑八幡」 6名

日程：5月28～29日@せたがや・がやがや館&（東京都世田谷区）
多田誠（ただっちょ）、大和田拓（たく）、森岡浩美（もりさん）
本橋紀久子（きくこ）、木村聡（きむさと）、佐藤さわ（さわ）



2.ファシリテータートレーニング その2・パチャママコール

第23回 チーム「キラキラ☆パイレーツ」 4名

日程：7月23～24日&8月28日@下馬区民会館（東京都世田谷区）、オフィス（東京都中央区銀座）
鈴木結子（ユイ）、塩谷由記枝（しおちゃん）、鷹井敦子（あっちゃん）、八木和美（みずか）



第24回 チーム「Mother Earth」 3名

日程：10月29～30日&11月29日@オフィス（東京都中央区）
中西百合（ゆりちゃん）、櫻井香織（かおりん）、鈴木のぞみ（のんちゃん）



第25回 チーム「スターフォース」 4名

日程：11月12～13日&12月4日@しみん基金KOBÉ（兵庫県神戸市）
野崎あずみ（あずみ）、川上マチ（マッチ）、河野裕樹（ひろき）、宮舞ひかる（ひかる）

パチャママコール

2015年度に引き続き、パチャママ・アライアンス海外担当のMaisaと月1回のミーティングをしています。NPO法人セブン・ジェネレーションズの会員・ファシリテーターであればどなたでも参加できる形式をとっており、世界的な動向についてお互いの意見を積極的にかわしています。この活動が世界的なムーブメントの一つであることを体感できるととても良い機会になっています。



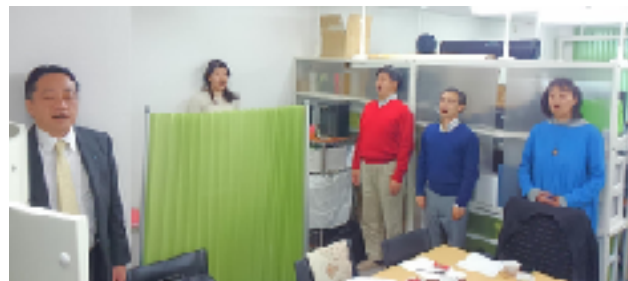
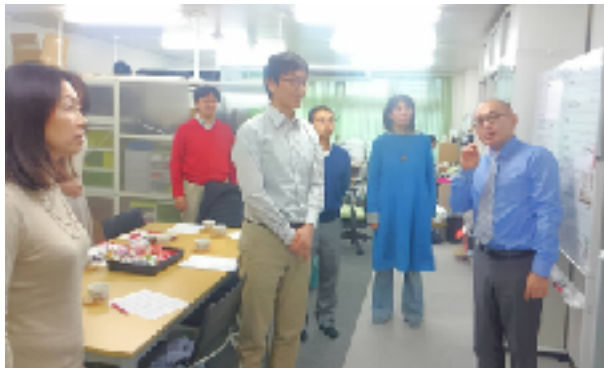
3.チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムVer3.0リリース！

チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムVer.3.0日本語版がリリースされました。これは、パチャママ・アライアンスで2013年にリリースした新バージョンVer.3.0の日本語版です。Ver.3.0は、情報が新しくなり、画質もよくなっているだけでなく、私たちの「あり方」へのより深い洞察と、具体的な行動に向けての強い働きかけを促しています。

今回は、前回のVer.2.5と同様、日本語吹替版と字幕版を作成し、ファシリテーター用マニュアルも改訂されています。この内容の翻訳には、30名におよぶファシリテーターが関わり、吹替えも20名弱のファシリテーターのボランティアによって行われました（翻訳と吹替えの人数は重複を含む）。ぜひご覧になり、誰の声かあててみて下さい。

また、Ver.2.5はDVDでの配布でしたが、Ver.3.0はパワーポイントかKeynoteをデータファイルで配信しました。

Ver.3.0は、データや映像がアップデートされ、映像・音声が高解像度にアップグレードされただけでなく、目覚めた地球市民の数を変化が起こせるだけ生み出すため、「あなたにとって次は何？」と問いかけることによって、参加者に変化を起こすための具体的な行動を促します。Ver.3の日本語化に際しては、パチャママ・アライアンスからのデータの提供、日本の多くのファシリテーターの無償のご協力がありました。（写真は、吹替え前の発声練習とマニュアルの表紙）



チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム

ファシリテーター・マニュアル
V3.0



4. ゲーム・チェンジャー・インテンシブ（GCI）開催

ゲーム・チェンジャー・インテンシブ（GCI）とは、パチャママ・アライアンスが開発した「世の中を変えていく者（= Game Changer）のための集中講座（= Intensive）」です。チェンドリに参加して目覚めた人たちが、自分たちが望む世界を創っていくための具体的な行動力を身につけ、さらに、世界中の仲間たちと繋がる場をもつことを目的にしています。期間は7週間で、アメリカでは2014年に初めてコースが始まりました。

その後、2016年には杉原めぐみさんの呼びかけで、日本語でディスカッションをするグループが結成されました。めぐみさんは、パチャママコールの際にも毎回通訳としてご参加下さっています。そのめぐみさんの呼びかけで、参加希望者を募り、3月スタートの回は参加者15人＋モデレーター1人が、7月スタートの回は参加者11人＋モデレーター5人が参加しました。毎週リン・ツイストやビル・ツイスト、ジョアンナ・メイシー、チャールズ・アイゼンシュタインなどの英語のビデオや読み物を観るのですが、日本チーム内で翻訳を分担するなど協力して進めました。そのマテリアルを観て、月曜の午前中と火曜の夜の二つの時間帯に、グループでの対話をしました。

この2回のGCIの参加者から、本格的にビデオに字幕を付けて、全体を監修して日本語化をするというプロジェクトが2016年10月に立ち上がり、2017年1月からの稼働をすることになりました。



社会の仕組みを変えるオンライン講座

ゲームチェンジャー・インテンシブ
Game Changer Intensive



5. リン・ツイスト来日イベント「夢を変え、ゲームを変え、世界を変える」開催

リン・ツイストが3年連続で来日し、セブン・ジェネレーションズ創設者の榎本英剛（ヒデさん）とともに、一昨年に続いて大規模ワークショップ（スタッフ含め191名）を開催しました。<http://www.sevengenerations.or.jp/change-the-world-2016>

リンは「ソウル・オブ・マネー」、ヒデさんは「天職創造」という独自のワークショップのコンテンツを持っていますが、そのエッセンスをそれぞれが出し合い、チェンドリの要素も踏まえた素晴らしい内容となりました。また岡野弘幹さんの壮大なスケールの音楽が、都会の近代的な会場にいながらも地球とのつながりを呼び起こしてくれました。リンの友人でもある安倍昭恵首相夫人も駆けつけ、日本というこの国から何をレバレッジポイントとして世界に対して働きかけるのか、それぞれが考え出すきっかけとなったでしょう。

企画を進めるにあたり、スタッフは「お金」というものに真正面から向き合う機会となりました。まず「参加費」をいくらにするのか？より多くの人に来ていただきたい。しかし、企画側が自分自身をすり減らして実施したくはない。割引をするというのはどういうことなんだろう？提供する価値に見合う金額はいくらだろう？そんな様々なお金にまつわる「問い」と向き合い「自分たちは最高のものを提供し、それに見合う参加費を頂く」というところに立つ（Take a stand）ことを決め、実施しました。また、ギフト・エコノミーの仕組みも導入（12ページ参照）することで、より多くの方に参加してもらおうという願いも手放さずに進めることができました。





6. エクアドル関連事業

パチャママ・アライアンスの全面協力のもと、日本人のみでエクアドル訪問を実現

2016年10月、パチャママ・アライアンスの全面協力の元、SGの会員が参加したエクアドル・アマゾン訪問が実施されました。日本人のみでアチュアルのコミュニティを訪れるのは当団体としては初の試みでしたが、総勢19名で現地を訪れ、全員無事に帰国することができました。

エクアドルの首都・キトからはケチュア族の村でホームステイをしたり、エクアドル（equador）という国名の由来にもなった赤道（equator）記念碑にも立ち寄ったりと、世界で初めて人間と同じく自然が権利を持つことを明記した憲法を持つ国、エクアドルの魅力を満喫しました。アチュアルのコミュニティでは、日本から遥々この地へ来てくれたことの感謝と、自分たちの文化を共有できる喜び、そしてこの地球を共に未来へと繋いでいくことへの想いを、アマゾンの大自然の中で受け取りました。



エクアドル訪問を映像化した「アチュアルの夢～アマゾンから現代社会へのメッセージ～」を制作。DVD化が決定

今回のエクアドル訪問においては、リン・ツイストと共に2014年にアチュアルを訪問したことがあり先住民やシャーマニズムなどにも造詣が深い龍村ゆかりさんを映画監督に迎え、カメラマンの米田はじめさんにも協力していただき、映像制作をいたしました。

映像制作にあたっては、多くの皆様からの寄付をいただく形で、制作費の一部として約300万円を資金調達いたしました。映像については、2017年に入ってから公開予定です。





7. その他の活動・イベント

いとしろカレッジの運営協力

元SG理事の加藤万里子さんが岐阜県石徹白地区に移住し、現地のNPO「安らぎの里いとしろ」とともに立ち上げたのがいとしろカレッジ。受講者は他の地域より毎月1回1泊2日でいとしろの地を訪れ、土地の自然や人々と触れ合いながら、自分自身の生き方と向き合う9か月のプログラムです。このプログラムの運営協力をセブン・ジェネレーションズが請け負って2017年3月まで進行中です。他のNPOとの新たなコラボレーションの形が増えました。

イベント開催

今年もいくつかイベントを開催しました。代表的なものをご紹介します。

一つめは、書籍『U理論』翻訳者であり、セブン・ジェネレーションズ監事である由佐美加子さんと、チェンドリ・ファシリテーターであり、コンサルタント・ファシリテーターとしてもあちこちから引っ張りだこの二子涉さんの対談イベント。対立の葛藤や痛み、その先にあるものにアクセスすることが全体性につながっていくことなど、深い対話となりました。

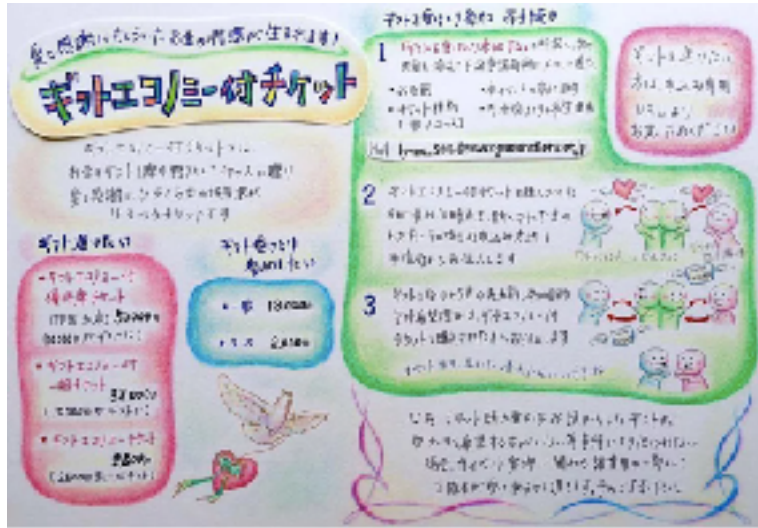
二つめは、チェンドリの映像の中でも印象深いコメントを発しているジョアンナ・メイシーのワークショップ。ジョアンナのそばに住み、日本人として最も多くの時間を一緒に過ごしながら教えを受けている斉藤由香さんを迎え、SG代表の赤塚とともに「つながりを取り戻すワーク」を実施しました。これは日本では『アクティブ・ホープ』というジョアンナの著書名を冠したワークショップとしても知られているものです。ジョアンナが乗り移ったかのような由香さんの言葉に2日間があっという間に過ぎ、「痛み」を大切に扱うからこそ、人はパワフルになれることを改めて感じることができました。そして12月以降、前述の二子さんの協力を得て、お金のセミナーをシリーズとして開催し始めています。イベント情報は、HPやFB等で発信していきますのでご期待ください！





8. お金の循環をめぐる新たな試み

リン・ツイスト来日イベントでのギフトエコノミーシステム



リン・ツイスト来日イベントの際、私たちの自己表現として、参加費を28,000円と決めました。しかし、この金額を支払うことが困難な人たちは参加できないのだろうか。より多くの人たちに来てもらいたい。そんな願いの中で創造力を発揮した結果、ギフトエコノミーの仕組みを考えだしました。余分に参加費を支払える人が支払い困難な人をサポートするというものです。さらに、当日参加できない人でもそのサポートをすることができる。この仕組みに40名の人が賛同してギフトを提供し、結果として24名の人がギフトを受けて参加することができました。会場でギフトを提供した人と受けた人が感動の対面をし、お金だけではなく、感謝の循環が生まれる瞬間を目の当たりにし、スタッフとしてこの場に関わることが、実は大きなギフトを頂くことになる気づかされました。

GCI (ゲーム・チェンジャー・インテンシブ) 日本語化における報酬と資金調達

ゲーム・チェンジャー・インテンシブの日本語化プロジェクトは「報酬とは何か?」という問いから始まりました。金銭的な報酬と、それ以外にも「承認の言葉が欲しい」「このプロジェクトが成功すること」「自分のプロジェクトを手伝って欲しい」「ギャグを言ったら笑って欲しい」など、人によって様々な報酬があることがわかりました。そこでこれらも報酬とすることを決め、一方で金銭的な報酬の原資はこのプロジェクトに関わる人たち自身が提供し、参加者からの寄付によって回収していくという自己調達の形を考え出しました。人によって異なる報酬へのニーズをお金に均一化せず、様々な価値を認めるということ、プロジェクト成功を最も願う人、つまりプロジェクトメンバー自身が資金提供・資金回収も行うという新たな試みがここに生まれ、現在進行中です。





9.ホームページ新設・クレジットカード決済導入



これまでNPO法人セブン・ジェネレーションズでは、ワークショップ「チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム」のホームページはありましたが、団体としての情報発信ツールであるホームページを制作していませんでした。

ところが、活動の幅がますます広がっていく中で、NPO法人として共感を呼び起こし、広げていきたいという想いが大きくなり、チェンドリのファシリテーターでもあり「チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム」のHP制作をお願いしたこともあり、信頼を置いている阿部文彦さん&裕香子さんのWebクリエイティブユニットYUKAFUMI (<http://www.yukafumi.net/>) 主催の「自分で創るホームページ」講座に参加しました。

その後SGホームページ制作プロジェクトチーム（延与早紀子さん・桑原康平さん・小泉正信さん・SG理事鳥谷部愛）を立ち上げ、NPO法人セブン・ジェネレーションズのHPを無事9月にリリースしました。

と同時に、会費やご寄付、各種イベントへの参加についてもみなさまの利便性の向上を目指し、クレジットカード決済の導入をいたしました。これにより、VISA・Masterカードをお持ちの方は会費の支払い及びご寄付をスムーズに行える環境が整いました。





10. ご寄付について



2016年度は、各地で開催しているチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムや当団体のイベントにおいて503,106円のご寄付をいただきました。

みなさまからの自分らしい役割を果たして持続可能な未来を創り、次世代に受け渡したい、という思いを資金という形で受け取ること、当団体の活動がより広がり、目覚めた世界市民を増やすことにつながっております。

また、上記のご寄付とは別に、2016年4月にリリースした「チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム」のVer3.0翻訳・映像制作プロジェクトへのご寄付が247,000円、2016年9月より始めた「アチュアルの夢」映像制作プロジェクトへの寄付が1,627,692円となりました。未だアメリカ・中国について第3位のGDPを誇る日本で、持続可能な未来を創るセブン・ジェネレーションズの活動にこれだけ多くの方の想いとお寄付をいただけるのはとても光栄なことです。これからも自然・つながり・一人ひとりの可能性を大切にして活動いたしますので、引き続きご支援のほどお願いいたします。





11.最後に

2016年度は、活動の幅を大きく広げた年でした。

リン・ツイストの3年連続来日イベント、南米エクアドル・アマゾンへの訪問と映像化プロジェクト、GCIの日本語グループでのディスカッション、セブン・ジェネレーションズのホームページの立ち上げ、いとしのカレッジの運営協力、ジョアンナ・メイシーのワークなど、私たちのミッションに関連する大事な事業に丁寧に取り組みました。

いずれも「チェンジ・ザ・ドリーム」の世界観を新しい方々に広げ、また、理解を深め、あり方を見つめる活動になりました。また、アズワン・ネットワークや森と踊る株式会社など関係団体との連携も深まりました。

さらにこれらの活動が、2017年度につながっていきます。ゲーム・チェンジャー・インテンシブ（GCI）は、主なマテリアルを日本語に翻訳し、ビデオに字幕をつけ、監訳をし、英語力に関係なく参加して頂けるようになりました。南米アマゾンを訪れた旅は、みなさまからの多くのご寄付をいただいたおかげで「アチュアルの夢」という映像作品になり、アチュアルコミュニティからのメッセージ、そして私たちの世界観を広く伝えていけるものとなるでしょう。

2017年度は、セブン・ジェネレーションズの器が、さらに多くの共通の関心をもつ皆さまと関わり、一緒にあり方を深め、日本でのレバレッジポイントを探求していくよう意図しています。皆さまのご参画を心よりお願い致します。

法人概要

1. 名称

特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ

2. 成立

2011年3月15日

3. 所在地

東京都千代田区

4. 連絡先

電話 03-6228-7605

メールアドレス info@sevengenerations.or.jp

5. 会員数（2017年1月31日時点）

正会員	46名	賛同会員	40名
-----	-----	------	-----

6. 組織

代表理事 赤塚丈彦 宇佐見博志

理事 丸山まゆみ 鳥谷部愛

監事 大山裕之 由佐美加子